

各位

報告日： 2008年5月18日

特定非営利活動法人
海外に子ども用車椅子を送る会
代表者名： 森田 祐和

平成19年度事業報告

I. 事業収支

単位 円

	平成19年度	平成18年度
収入総額	3,580,684	4,564,919
支出総額	3,207,059	3,117,368
次年度繰越	2,646,832	2,273,207

II. 事業目標の達成状況

2007年度はブルガリア、タンザニア、ベトナムに各100台の車いすを寄贈する計画に対して、実績はブルガリア112台、タンザニア78台、ネパール24台を寄贈、2008年2月でベトナム向けの172台の整備を完了しベトナム政府に寄贈許可申請をしたことから、2007年度としては計画を大幅に上回る達成であった。

III. 事業内容

1. 子ども用車いすの収集

(1) 通年を通して養護学校、各家庭などから収集、在庫台数300台となる。

(2) 方針変更

当会では、従来社会福祉協議会、介護老人健康施設などから不要になった車いす(大人用)を引き取ってほしいという要請があった場合引受けてきた。

しかし、海外の国々に大人用車いすの寄贈を打診しても、つぎの理由から受入先が見つげにくいのが実状ある。

① 各国では、他の国から子ども用車いすの寄贈を受けることはほとんどなく、医療機器として非常に不足している子ども用車いすに対して強い寄贈要請が当会に寄せられている。

② 大人用車いすは欧米諸国からの寄贈があり、かつ安価な現地製もあることからある程度充足できる。

幸いにも在庫分についてはベトナムに寄贈できることになったが、社会福祉協議会などから提供の大人用は使い込んだものが多く、修理費がかさむうえに寄贈先も見つけにくいことから、今後は活動開始時の原点に立ち返り、子ども用車いす寄贈に特化した活動にすることに方針を変更した。

2. 車いすの整備・洗浄・梱包

(1) 毎月第三日曜日に収集した車いすを洗浄、補修して新品同様にする整備を実施した。

(2) つぎの整備を完了した。

ブルガリア向け	112台
タンザニア向け	78台
ネパール向け	24台
ベトナム向け	172台
合計	386台

3. 車いすの発送

(1) つぎの3カ国へ車いすを発送、寄贈した。

①平成19年5月 ブルガリア 112台

5月10日大井ふ頭を出港した車いすは6月27日にブルガリアに到着、7月28日ソフィア市内の小児病治療専門病院において、保健大臣、駐日特命全権大使夫人、贈呈式に出席のために一時帰国した大関琴欧洲関、福井日本大使、テレビ、新聞などのマスコミ関係者など多数の人が出席して贈呈式が行われ、健康保健省から10数カ所の小児医療施設に贈られた。

②平成19年8月 タンザニア 78台

7月31日に横浜港を出港した車いすは9月29日首都ダルエスサラームに到着10月8日保健福祉省において、保健福祉大臣、伊藤日本大使、保健省幹部、全国身障者協会会長、養護施設代表者、身障者の子ども達など約100人が出席して贈呈式が行われ、8カ所の小児医療施設に贈られた。

なお、タンザニアには100台の寄贈を予定していたが、7月の車いす整備例会日に台風が関東地方を直撃し整備を中止せざるを得なかったことと、タンザニア保健福祉省からの雨季に入る前に送ってほしいという強い要請に基づいて6月までに整備の完了した78台を寄贈した。

③平成19年11月 ネパール 24台

ネパールに派遣されている青年海外協力隊員からの要請により、11月にJICA(独立行政法人 国際協力機構)に要請台数を寄贈、平成20年初頭にJICAによりネパールに送られ、3月に到着、JICAネパール事務所、および青年海外協力隊員から子ども達に贈られた。

(2) 寄贈許可申請

①ベトナム 172台

寄贈する車いすの整備、梱包を完了し、ベトナム政府に2008年3月始めに寄贈許可の申請をした。

ベトナムはリサイクル品の輸入規制が厳しく、車いすを送るには日本の財務省に相当する省庁など3つの省庁の許可が必要で、許可に2カ月くらいかかる。

4. 広報啓発活動

(1) 会報発行

平成20年1月に発行、会員、支援企業、団体、養護学校、寄付をいただいた人、車いすを提供していただいた人等に配布した。

(2) パンフレット作成、配布

パンフレットの在庫がなくなったことから、新パンフレットを作成した。寄付をいただいた人、車いすを提供していただいた人、その他当会の活動の理解を得るために必要に応じて配布している。

(3) ミニ通信

毎月、当会の活動状況をタイムリーに報告することを目的に作成、会員、支援企業・団体、寄付をいただいた人、車いすを提供していただいた人、車いす収集に協力いただいた養護学校のPTAなどに配布している。

平成19年3月末現在配布数250部。

(4) ホームページ

新しい事実が発生したとき随時更新を実施

5. 啓蒙活動「小学生、中学生の活動への参画」

(1) 都立高校社会貢献授業への協力

平成19年度の都立高校1年生から年3日の社会貢献体験の参加が授業として必修化された。当会は都立福生高校の要請に基づいて100台の車いすを同校に運び、25名の生徒に車いす洗浄のボランティア活動体験していただいた。

(2) 小、中学生の活動の参画

2007年7月と8月に5名の小学生に車いす洗浄のボランティア体験をしていただいた。

IV. 事業成果

＜事業成果＞

- (1)ブルガリア健康保健省への車いす贈呈式には健康保健大臣、日本大使、保健省の幹部、障害者協会幹部、マスコミ関係者など多数が出席、タンザニア保健福祉省への車いす贈呈式には健康福祉大臣、日本大使、健康福祉省幹部、障害者協会幹部など100人以上が出席、いずれの国の贈呈式においても、当会に対して引き続いての子ども用車いす支援を求められ、当会の活動が高く評価された。
- (2) 当会単独では寄贈が困難視されていたネパールに対しては、青年海外協力隊員、JICA(独立行政法人国際協力機構)、JICAネパール事務所の協力を得て子ども用車いすの寄贈を実現できた。

＜成果物＞

1. ブルガリア健康保健省子ども用車いす寄贈
 - (1) ブルガリアに送付した車いすの写真一覧
 - (2) ブルガリアに送付した車いすのシートサイズ一覧
 - (3) ブルガリア「車いす贈呈式」写真一覧
 - (4) ブルガリアに送付した車いすの送り状(写)
 - (5) ブルガリアに送った車いす贈呈作業マニュアル
2. タンザニア福祉保健省子ども用車いす寄贈
 - (1) タンザニアに送付した車いすの写真一覧
 - (2) タンザニアに送付した車いすのシートサイズ一覧
 - (3) タンザニア「車いす贈呈式」写真一覧
 - (4) タンザニアに送付した車いすの送り状(写)
 - (5) タンザニア保健福祉大臣贈呈式挨拶要約
3. ネパールJICA事務所子ども用車いす寄贈
 - (1) ネパールに送付した車いすの写真一覧
 - (2) ネパールに送付した車いすのシートサイズ一覧
 - (3) ネパール向け平成19年度第2回「世界の笑顔のために」プログラム提供物品リスト
4. 国際青年協力推進センター(CYDECO) 車いす寄贈申請
 - (1) ベトナムに寄贈申請した車いすの写真一覧
 - (2) ベトナムに寄贈申請した車いすのシートサイズ一覧
 - (3) 寄贈証明書